

ジュニア科学クラブ 1



冬の星座をさがそう

冬となり寒い時期となりましたが、星空は明るい星が多く大変にぎやかです。

今は夜9時ごろに空をみると、オリオン座がちょうど南の方角に見えています。分かりやすい形をしているので、星空をあまり見たことがない人でもすぐに見つけることができますでしょう。

ほかにも、冬の大三角やすばるなど、有名な星がたくさん見えています。プラネタリウムで練習して、本物の星空で星をさがせるようになりましょう。



えごし わたる(科学館学芸員)

■1月のクラブ■

1月21日(日) 9:45 ~ 11:30

- ◆集合：プラネタリウムホール(地下一階)
9:30~9:45の間に来てください
てんじ場入口で会員手帳を見せてください
- ◆もちもの：会員手帳・会員バッジ・筆記用具
実験教室に必要なもの(右ページを見てね！)
- ◆内容：9:45~10:30 プラネタリウム①見学(全員)
10:30~11:30 プラネタリウム②見学(会員番号33~64)
10:30~11:30 実験教室(会員番号1~32)

・途中からは、入れません。ちこくしないように来てください。

・プラネタリウムに入れる保護者の方は1名までです。

※最新の情報は、科学館公式ホームページ(<https://www.sci-museum.jp/>)をご覧ください。

ここから3ページはジュニア科学クラブ(小学校5・6年生を対象とした会員制)のページです。



1・2月のプラネタリウム：天文の話題

オーロラを見にいこう！

オーロラって、なに？

みなさんは、オーロラを知っていますか？世界で一番美しい自然現象しぜんげんしょうともいわれ、アラスカやカナダなど日本からはなれた緯度いどの高い地域でしか見ることができません。



そこで、1月・2月のジュニア科学クラブでは、プラネタリウムでアラスカまでオーロラを見にいってみましょう！緯度の高い地域で星空を見あげると、大阪での星空とちがっていることに気がつくはずです。何がどのようにちがうのか、プラネタリウムでじっくり見てみましょう。

そのあと、当館オリジナル番組「オーロラ」を上映し、オーロラが光るしくみや、オーロラのさまざまな色や形を見てもらいます。

太陽系のほかの惑星わくせいにオーロラはあらわれる？

地球は太陽系の第3惑星です。惑星は、太陽に近い順に水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星、8つあります。では、地球以外にオーロラがあらわれる惑星はあるのでしょうか？

クラブ当日、番組「オーロラ」を見てオーロラの光るしくみが分かったところで、みなさんに考えてもらいます。

にしの あいこ(科学館 学芸員)



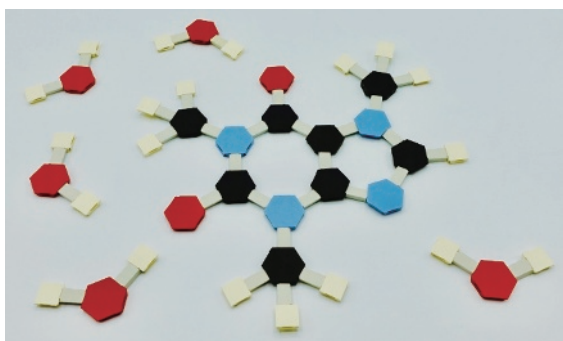
1・2月の実験教室

分子をつくってみよう

この世界のどんな物質も、「原子」という小さなつぶがたくさん集まってできています。原子の大きさは、だいたい1千万分の1mm！ぜったいに目では見えません。原子の種類は100種類ちょっと。それは「元素周期表」にまとめられています。科学館にも展示てんじがありますね。原子がいくつかつながったのが「分子」です。これでもまだ小さすぎて目に見えないのですが、物質の色や電気の流れやすさ、固さといったさまざまな性質をしらべたり、あたらしい物質をつくったりする化学者はみな、いつでも分子や原子の様子を想像しながら研究をしています。分子はいつたい、どんな形をしているのでしょうか？

どんなことをするの？

この教室では、ペーパークラフトのように手軽に組み立てることができる分子模型「PuzMolもけい（パズモル）」でいっしょに分子を組み立て、実験も観察しながら、小さな世界を想像してみましよう。分子模型は持ち帰ることができます。



山本典史 先生(千葉工業大学工学部応用化学科 教授)、
株式会社 QunaSys (キュナシス)
光・量子飛躍フラッグシッププログラム(Q-LEAP)